

わかりやすく

お知らせします！

2017年度決算について ~



『一般会計』の決算は次のとおりです。

一般会計決算の状況

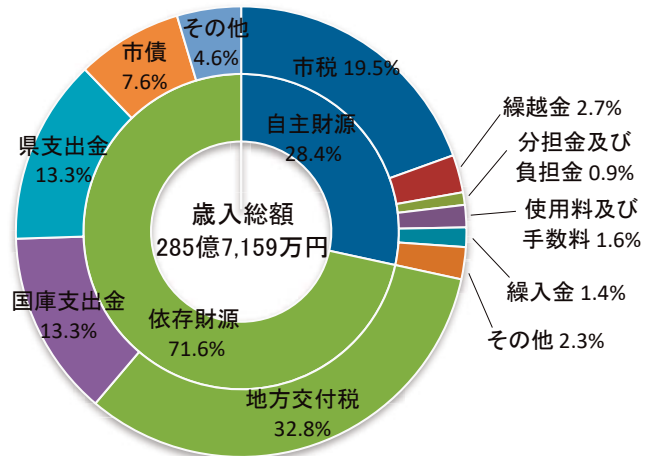
区 分	2017年度	2016年度	増減額
歳 入	285億7,159万円	309億4,251万円	△23億7,092万円
歳 出	273億7,335万円	301億6,241万円	△27億8,906万円
差 引	11億9,824万円	7億8,010万円	4億1,814万円
翌年度繰越財源	2億6,092万円	1億998万円	1億5,094万円
実 質 収 支	9億3,732万円	6億7,012万円	2億6,720万円

2017(平成29)年度一般会計の決算は、歳入総額285億7159万円、歳出総額273億7335万円となり、歳入から歳出を引いた差引額は11億9824万円となりました。  
この額から翌年度への繰越財源2億6092万円を除くと、実質収支は9億3732万円となり、2016(平成28)年度の実質収支と比べると2億6720万円の増となりました。

〔歳入〕

歳入決算の内訳

区 分	2017年度決算額	2016年度決算額	
自主財源	市 税	55億8,284万円	53億2,779万円
	繰 越 金	7億8,010万円	14億5,268万円
	分担金及び負担金	2億5,562万円	2億5,074万円
	使用料及び手数料	4億4,201万円	4億3,186万円
	繰 入 金	4億743万円	18億1,771万円
	そ の 他	6億5,175万円	6億2,774万円
	依存財源	地 方 交 付 税	93億5,567万円
国 庫 支 出 金		38億199万円	36億1,918万円
県 支 出 金		38億380万円	21億4,064万円
市 債		21億6,750万円	41億5,670万円
そ の 他		13億2,288万円	12億5,268万円
自 主 財 源 合 計	81億1,975万円	99億852万円	
依 存 財 源 合 計	204億5,184万円	210億3,399万円	
歳 入 合 計	285億7,159万円	309億4,251万円	



一般会計の決算って、『市民一人当たり』では、どのくらいお金を使っているの？

農林水産業費	衛生費	民生費	総務費	使用額
5万4,018円	5万7,136円	18万2,510円	5万4,609円	
10.6%	11.2%	35.7%	10.7%	割合
農林水産業の振興 ○農業施設などの整備 ○森林整備事業(除間伐事業など) ○林道、農道などの整備 ○生産基盤整備などの 県営事業負担金	市民の健康維持・健康増進 ○ゴミやし尿の処理 ○子ども医療費の助成 ○各種予防接種 ○母子保健事業	高齢者、子ども、障害者などの福祉サービス ○高齢者への生活支援 ○障害者への生活支援 ○保育所等の運営 ○生活保護費の支給 ○児童手当の支給	市の運営事務など ○庁舎や土地などの財産管理 ○自治会、地域の活性化事業 ○行政改革の取り組み ○税務事務 ○各種選挙の実施	主な使い道

2017年度の一般会計の歳出決算額は273億7335万円ですが、これを市民1人当たりで換算すると、51万592円使ったこととなります。このお金を使われた分野ごとに分けると、次のとおりになります。

※ 2018年3月31日現在の人口5万3,611人を1人当たりの基礎として計算してあります。

# 出水市が使った **お金** について

～ 『一般会計』、『特別会計』、『企業会計』の

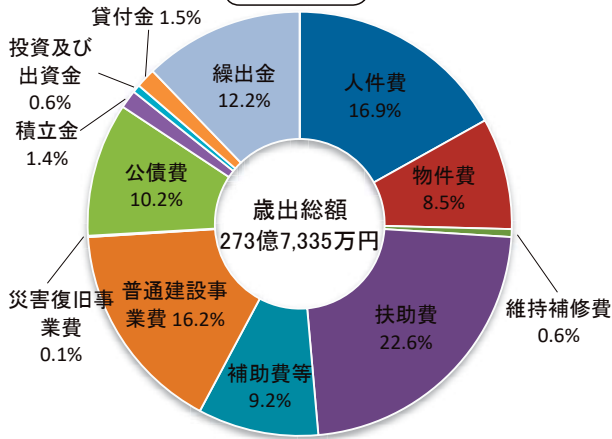
## (歳出)

歳出決算の内訳		性質別の区分 (何の費用として使ったか)	
区 分	2017 年度決算額	2016 年度決算額	
人 件 費	46 億 3,968 万円	46 億 4,572 万円	
物 件 費	23 億 4,230 万円	23 億 5,087 万円	
維持補修費	1 億 5,977 万円	1 億 6,233 万円	
扶 助 費	61 億 7,611 万円	59 億 9,704 万円	
補 助 費 等	25 億 2,719 万円	23 億 1,453 万円	
普通建設事業費	44 億 3,250 万円	69 億 9,265 万円	
災害復旧事業費	1,284 万円	4,148 万円	
公 債 費	27 億 9,025 万円	28 億 1,527 万円	
積 立 金	3 億 9,018 万円	10 億 8,051 万円	
投資及び出資金	1 億 5,236 万円	1 億 4,458 万円	
貸 付 金	4 億 0 万円	3 億 3,000 万円	
繰 出 金	33 億 5,017 万円	32 億 8,743 万円	
<b>歳 出 合 計</b>	<b>273 億 7,335 万円</b>	<b>301 億 6,241 万円</b>	

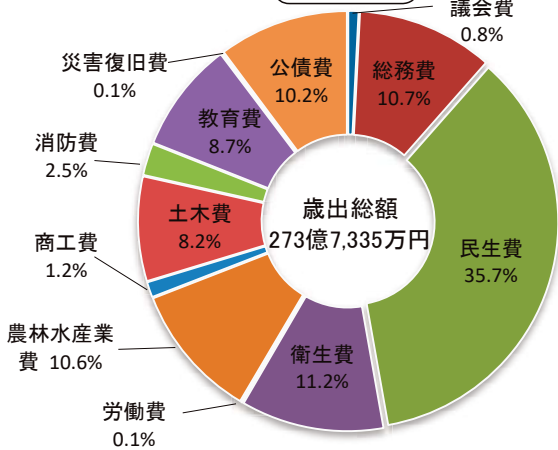
歳出決算の内訳		目的別の区分 (どの分野に使ったか)	
区 分	2017 年度決算額	2016 年度決算額	
議 会 費	2 億 1,365 万円	2 億 1,331 万円	
総 務 費	29 億 2,763 万円	68 億 5,481 万円	
民 生 費	97 億 8,456 万円	92 億 2,127 万円	
衛 生 費	30 億 6,309 万円	27 億 1,932 万円	
労 働 費	2,283 万円	2,340 万円	
農林水産業費	28 億 9,597 万円	14 億 1,640 万円	
商 工 費	3 億 3,068 万円	4 億 8,928 万円	
土 木 費	22 億 4,033 万円	24 億 2,435 万円	
消 防 費	6 億 9,606 万円	13 億 9,053 万円	
教 育 費	23 億 9,579 万円	25 億 5,327 万円	
災 害 復 旧 費	1,251 万円	4,120 万円	
公 債 費	27 億 9,025 万円	28 億 1,527 万円	
諸 支 出 金	0 万円	0 万円	
<b>歳 出 合 計</b>	<b>273 億 7,335 万円</b>	<b>301 億 6,241 万円</b>	






※各性質の内容については、4ページの用語説明欄をご覧ください。

### 性質別



### 目的別



その他の経費	公債費	教育費	消防費	土木費
1万 812 円	5万 2,046 円	4万 4,688 円	1万 2,984 円	4万 1,789 円
2.1%	10.2%	8.8%	2.5%	8.2%
議会活動、商業、観光、災害復旧など	借金の返済	教育や生涯学習の推進	消防、救急業務	道路、公園、住宅の整備など
<ul style="list-style-type: none"> <li>○議会運営</li> <li>○商業の振興</li> <li>○観光業の振興</li> <li>○災害復旧事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の借金(市債)の返済費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市立の学校、幼稚園などの維持経費</li> <li>○商業高校の維持経費</li> <li>○生涯学習の推進</li> <li>○図書館の管理運営</li> <li>○青年の家の運営</li> <li>○スポーツの振興、スポーツ施設の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防業務</li> <li>○救急業務</li> <li>○防災対策事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市道の整備、維持管理</li> <li>○公園の整備、維持管理</li> <li>○公営住宅の整備、維持管理</li> </ul>
				

# 一般会計の決算額を、『家計簿』にしてみました！

本市の財政状況を分かりやすく理解してもらうために、2017年度の一般会計の決算額を1万分の1にして、家計簿に置き換えました。

## 収入

**合計 285万7,159円**

決算額：285億7,159万円

<b>給料</b> ※労働・サービスなどの代わりにもらうお金	→ 市税、負担金など	<b>58万3,846円</b>
<b>家賃収入</b> ※土地や建物などの財産により得る収入	→ 使用料、財産収入	<b>5万1,025円</b>
<b>銀行からの借入</b>	→ 市債	<b>21万6,750円</b>
<b>預貯金の取り崩し</b>	→ (基金などからの) 繰入金	<b>4万743円</b>
<b>家族からの仕送り</b> ※足りない分を家族が援助するお金	→ (国からの) 地方交付税、各種交付金	<b>106万7,855円</b>
<b>各種手当、補助金など</b> ※特定の条件により県などから入るお金	→ 国庫支出金、県支出金	<b>76万579円</b>
<b>その他の臨時収入</b> ※臨時的に入るお金	→ 手数料、寄付金、繰越金、諸収入	<b>13万6,361円</b>

## 支出

**合計 273万7,335円**

決算額：273億7,335万円

<b>食費、光熱水費、生活用品</b>	→ 人件費、物件費	<b>69万8,198円</b>
<b>医療費、教育費</b>	→ 扶助費	<b>61万7,611円</b>
<b>各種会費など</b> ※自治会や習いごとの会費	→ 補助費等、投資及び出資金	<b>26万7,954円</b>
<b>家や車の修理代</b>	→ 維持補修費、災害復旧事業費	<b>1万7,262円</b>
<b>財産の購入</b> ※家の建築、車や家電製品などの購入に必要なお金	→ 普通建設事業費	<b>44万3,250円</b>
<b>預貯金</b>	→ 積立金	<b>3万9,018円</b>
<b>家族への仕送り</b> ※親や子どもの生活を援助するお金	→ 貸付金、繰出金	<b>37万5,017円</b>
<b>ローンの返済</b>	→ 公債費	<b>27万9,025円</b>



### 用語説明

○人件費

職員の給与や議員の報酬などの経費

○物件費

施設の管理や物品の購入のための経費

○扶助費

市が市民の生活などを援助するために、市民や団体にお金や物品を提供するための経費

○補助費等

市が他の地方公共団体や民間に対して行う現金的給付に係る経費。報償金、保険料、補助金、負担金など

○普通建設事業費

道路、学校、公園などの公共施設を建設するための経費

○繰出金

一般会計から特別会計などの一般会計以外の会計に支出するための経費

○公債費

市の借金(市債)の返済のための経費



『特別会計』の決算は次のとおりです。

「特別会計」とは、地方公共団体が特定事業の収入をその事業の支出に充て経理を行う会計で、一般会計とは切り離して考えます。

特別会計名	歳入	歳出	差引額	主な事業の内容
国民健康保険	91億3,129万円	89億7,051万円	1億6,078万円	自営業者や農林水産業者などが加入する医療保険を運営するためのもの
後期高齢者医療	6億4,603万円	6億4,513万円	90万円	75歳以上の高齢者等の医療保険を運営するためのもの
介護保険	60億813万円	58億5,080万円	1億5,733万円	介護保険を運営するためのもの
交通災害共済	1,757万円	693万円	1,064万円	交通事故で死傷した場合に見舞金を支払う共済制度を運営するためのもの
下水道	13億2,363万円	13億2,360万円	3万円	出水地域の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
特定環境保全公共下水道	4億9,019万円	4億9,019万円	0円	高尾野地域の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
農業集落排水	2億6,573万円	2億6,573万円	0円	野田地域・江内地域の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
地方卸売市場	2,240万円	2,240万円	0円	公設地方卸売市場の施設管理を行うためのもの

『企業会計』の決算は次のとおりです。

出水市の企業会計には、「水道事業」と「病院事業」の2つの会計があります。

企業会計名	収益的収入および支出		資本的収入および支出	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	8億3,290万円	7億6,983万円	1億5,705万円	5億2,070万円
病院事業	45億2,064万円	46億9,348万円	6億1,866万円	7億3,393万円



収益的収支：企業の経営活動に伴う経常的な収支で、収入はサービスの提供による料金などで、支出は施設を維持管理するために必要な費用、人件費、減価償却費、借入金の支払利息などです。  
資本的収支：企業の建設改良事業に伴う収支で、収入は工事負担金や借入金である企業債などで、支出は施設を整備充実させるために必要な工事費、人件費、企業債の元金償還金などです。

## 出水市の財政状況を **全国共通の指標** でお知らせします！

『主な財政指標』は次のとおりです。

	2017年度	2016年度	類似団体平均 (2016年度)
財政力指数	0.39	0.38	0.52
経常収支比率(%)	92.4	91.1	90.5

### 財政力指数とは

基準財政収入額（標準的な状態での税収等）を基準財政需要額（標準的な行政を行ったときに市に必要とされるお金）で割った数値です。収入額が需要額より大きいと「1」を超え、数値が大きいほど財政力が強いことを示します。

### 経常収支比率とは

経常的な支出に充てられた財源が、経常的な収入のうちどれくらいであったかを示す割合です。比率が低いほど財政に自由度があることを示します。

### 類似団体とは

本市と同程度の市（類似団体）と財政状況を比較するために、地方公共団体を「人口」と「産業構造」で分類しています。近隣では、日置市、熊本県宇城市、宮崎県日向市等が同じ分類となっています。

# 財政の『健全化判断比率』について

地方公共団体の財政破綻を未然に防ぐため、2007年6月に財政の健全性をチェックする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が制定され、2007年度決算から財政の健全化に関する指標（健全化判断比率、資金不足比率）を作成し、公表しています。

本市の2017年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率は次のとおりです。

指 標	2017年度	2016年度
実質赤字比率	—	—
連結実質赤字比率	—	—
実質公債費比率	8.1	7.6
将来負担比率	—	—
資金不足比率	—	—
水道事業会計	—	—
病院事業会計	—	—
地方卸売市場特別会計	—	—
下水道特別会計	—	—
特定環境保全公共下水道特別会計	—	—
農業集落排水特別会計	—	—

「実質公債費比率」とは、借金返済のためのお金が、通常見込まれる収入に占める割合のことで、過去3年間を平均して算出される比率です。低いほうがいいですよ！



## 用語説明と解説

### ○実質赤字比率

一般会計の歳入から歳出を差し引いた額が赤字になる場合に、この赤字額が標準財政規模（地方公共団体が標準的な状態で、通常見込まれる収入の規模）に占める割合です。本市では、歳入から歳出を差し引いた額がプラスなので、実質赤字比率は算出されていません。

### ○連結実質赤字比率

実質赤字比率を、公営企業会計などを含めた全会計をもとに算出した場合の割合です。本市では、全会計において実質赤字が生じていないので、連結実質赤字比率は算出されていません。

### ○将来負担比率

この先、負担しなければならないお金が、通常見込まれる収入に占める割合の割合のことです。将来の財政を圧迫する可能性を示します。本市では、基金（預貯金）積立額の増加などにより、将来負担比率は算出されていません。

### ○資金不足比率

公営企業会計ごとに算出されるもので、当該会計に資金の不足額がある場合に、その不足額が料金収入の規模に占める割合です。本市では、2017年度各公営企業会計に資金不足が生じなかったことから、資金不足比率は算出されていません。

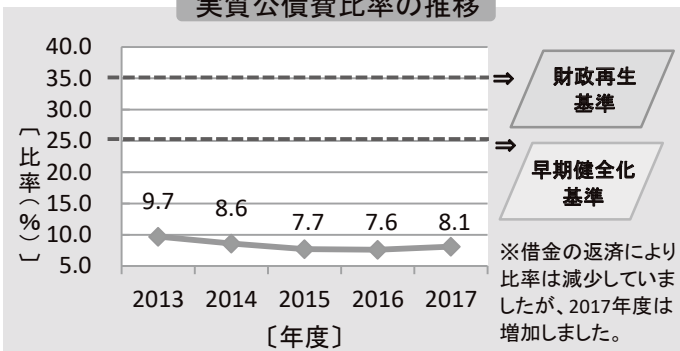
### ○早期健全化基準

この基準以上になると、早期に改善が必要とされ、財政健全化計画を策定し健全化を行います。いわゆるイエローカードです。

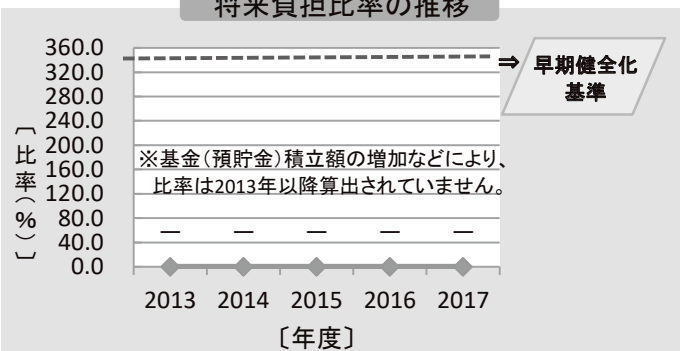
### ○財政再生基準

この基準以上になると、財政再生計画の策定が義務付けられ、借金などが国の管理下に置かれるため、自主的な財政運営ができなくなります。いわゆるレッドカードです。

実質公債費比率の推移



将来負担比率の推移



## 近隣市および類似団体の状況

近隣市および類似団体の2016年度の実質公債費比率と将来負担比率は次のとおりです。



《 近 隣 市 》				《 類 似 団 体 》			
	人口(人)	実質公債費比率	将来負担比率		人口(人)	実質公債費比率	将来負担比率
出水市	53,758	7.6	—	日置市	49,249	6.4	22.2
阿久根市	21,198	7.1	—	日南市(宮崎県)	54,090	10.7	89.5
いちき串木野市	29,282	9.5	82.5	日向市(宮崎県)	61,761	11.6	79.2
伊佐市	26,810	9.1	—	荒尾市(熊本県)	53,407	10.2	4.5
水俣市(熊本県)	25,411	13.4	39.7	宇城市(熊本県)	59,756	11.7	40.7

※ 人口は、2015年国勢調査によるものです。

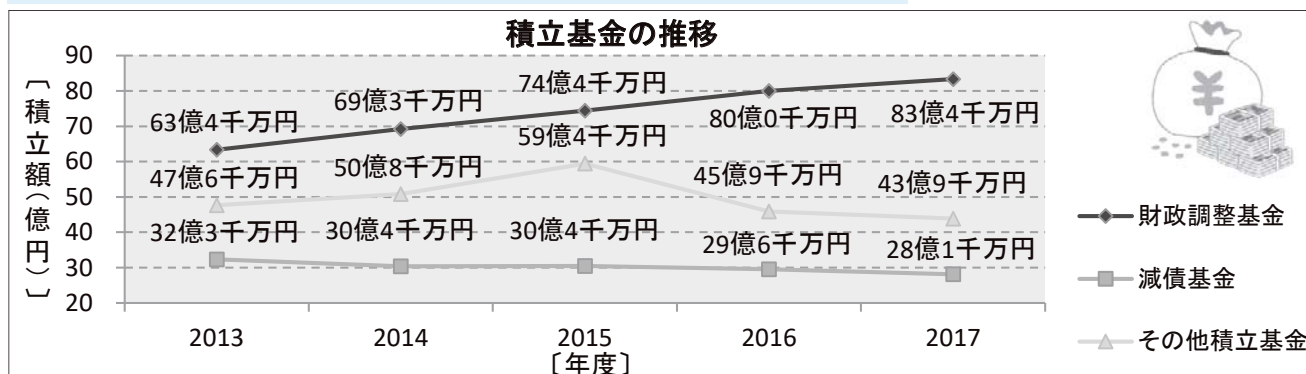
# 出水市はこんな **財産** を持っています！

市も一般家庭と同じように土地や建物、自動車、預貯金などの「財産」や「借金」を持っています。これらの財産や借金について、2018年3月31日現在の状況をお知らせします。

『財産』の状況は次のとおりです。

区分	2017年度末現在高	備 考
土地 (うち山林)	3,287万1,556㎡ (2,858万2,239㎡)	土地のうち、主なものは山林です。 
建物	32万7,404㎡	建物のうち、主なものは学校、公園、住宅などの施設です。 
有価証券	4,588万円	市が保有している株券です。
出資金	1億382万円	各種協会等への出資金です。
貸付金	18億1,956万円	特定事業のために企業会計等にお金の貸し付けを行っているものです。
車両	171台	市が保有している公用自動車や消防車両などです。
基金	202億329万円	一般家庭の預貯金に相当するもので、18の基金があります。
積立	155億3,452万円	計画的に積み立て、赤字になりそうなときに取り崩したり、特定の事業を行うための基金。
果実運用	32億5,710万円	原資は取り崩さず、その利息を使って事業を行う基金。
定額運用	9億1,941万円	一定の資金を原資に、土地を購入したり、貸し付けを行う基金。
特別会計	4億9,227万円	特別会計が積み立てている基金。主に国民健康保険基金。

財産のうち、積立基金の積立額の推移は、次のグラフのとおりです。



『借金(市債)』の状況は次のとおりです。

会計名	2017年度末現在高	2016年度末現在高	増減額	
一般会計	245億2,715万円	249億6,524万円	△4億3,809万円	
下水道分	下水道特別会計	73億5,242万円	76億7,833万円	△3億2,591万円
	特定環境保全公共下水道特別会計	45億5,008万円	47億558万円	△1億5,550万円
	農業集落排水特別会計	15億3,986万円	16億1,500万円	△7,514万円
地方卸売市場特別会計	9,265万円	1億1,239万円	△1,974万円	
企業会計	水道事業	39億7,653万円	40億9,784万円	△1億2,131万円
	病院事業	21億8,022万円	25億4,458万円	△3億6,436万円

主な会計の市債残高の推移は、次のグラフのとおりです。

